



2025年度版 ロス対策年間チャートご利用いただきたい皆様へ

この1年間の万引対策などにお疲れ様でございました。
また、2024年度版ロス対策年間チャートをご利用いただきありがとうございました。

この年間チャートは、皆様よりお寄せいただいた情報に基づいて作られました。今後さらに良い内容にするために、皆様よりの月別の「被害品情報」や「対策情報」をお待ちしております。

情報提供いただいた皆様には「最新のロス対策年間チャート」と「当機構の会報(万防時報)」をお送りいたします。

今後とも継続的な不正ロス対策をよろしくお願ひします。

2025年4月11日

ロス対策年間チャート制作小委員会(2013年12月15日設置)
特定非営利活動法人 全国万引犯対策防止機構
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-2 書店会館 4階
TEL:03-5244-5612 FAX:03-5244-5613

問い合わせ:https://www.manboukikou.jp/contact/

士官たちの正義と信頼を基に作られたチャート(海図)の歴史秘話

近世以前にも海図はあったはずですが現存しているものはありません。それがある場所からある場所へ航洋する方法を用心深く秘密にしていました。海図だけ船を増やす力もあり、宮への道であるめ門外不出の秘め事だったのです。そのため、海難事故が世界の各地で頻発し多くの船乗りの人命が失われました。

16世紀から17世紀にかけて、東インド会社ではそれぞれ水路専門家を雇い、秘密の海図を作っていました。1795年にイギリス海軍の水路部員ダーリングの指導で、イギリス海軍では沿岸の測量がはじまり、こうして水路図が生まれました。

その後、しばらくして、米国海軍海図測器廠(しょう)のモリーが広範囲の海図作りの能力体制を確立しようとして世界的協力体制が築かされました。これにより各國の船の士官達が、航洋日誌を積極的に送ってくれるようになりました。モリーはそのなかから資料を集め、整理して、海図の中に組み入れました。なお協力した航海士謝は、モリーからの心温まる礼状と海図のコピーを受け取りました。これによって海上交通が安全に早く目的地に達することができるようになりました。米国海軍の海図には今でも「マシュー・フォンテン・モリー中尉の調査に基づく」というのがあります。

出典:われらをめぐる海(ハイカワ文庫 NF(5))文庫 - 1977/6

レイチェル・カースン(著)
ロス対策年間チャート多くの店舗の方々の協力によって作られております。